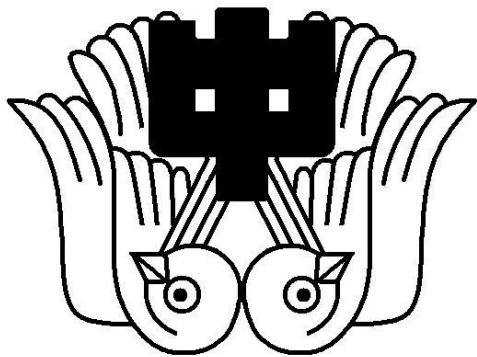


令和7年度



2学年

シラバス



上尾市立上尾中学校

国語科シラバス

2学年

【国語って何?】

- (1) 自分で自分の言葉の力を高めるための教科。
- (2) 言葉を学びながら、美しいものを味わい、人間の真実の姿を知り、人間や社会のあり方について考える教科。
- (3) 授業で学んだ言葉の力が自分の生活に生かされ、生活で学んだ言葉の力（読書、生徒会活動等）が授業に生かされる教科。

【言葉の力とは?】

- (1) 自分の意見や考えをはっきりと主張でき、自分のことを相手によく分かってもらったり、相手の心を動かしたりできる力。話す力。
- (2) 文学作品に表わされた美を味わい、人間や人生の奥深い姿を知る力。文学を読む力。
- (3) 自然科学や社会科学など、あらゆる分野の情報を取り入れる力。説明文を読む力。
- (4) 自分の意見や考えを誰にでも分かるように書き、相手の心を動かす力。書く力。

【言葉の力を身に付けるには?】

- (1) 読書をする。
- (2) 課題や先生の質問に対し、自分で考える。
- (3) 授業中に発言する。
- (4) 声を出して教材文を読む。
- (5) 書きたいと思うことをたくさん書く。
- (6) 正しい漢字、正しい言葉づかいを普段から意識する。
- (7) 漢字は字の意味も覚える。
- (8) 進んで学習する。（何よりもやる気が大切です。）



【こんな方法で評価します。】

国語は次の3つの観点（「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」）を、A（十分満足できる）B（おおむね満足）C（努力を要する）の3段階で評価します。そして、3つの観点のABCを基に5段階の評定をします。

*分かりやすく説明すると、こんな人が「A」になります。

観点	
知識・技能	テストで知識を問う問題（漢字・文法・語句）の理解度が高い。 言葉の決まりを理解して正しく文章が書くことができる。 文字を丁寧に書くことができる。
思考・判断・表現	テストで理解を問う問題の理解度が高い。 文章を正確に早く読み取れる。 話を正しく聞き、理解できる。スピーチや話し合い活動で考え方を他者に伝えられる。 感想や考え、意見などが根拠を持ってわかりやすく書ける。書くことの学習（創作）でよい作品ができる。
主体的に学習に取り組む態度	授業、学習に対して粘り強く取り組み、学力の向上を図ろうとしている。 宿題や提出物をきちんと充実した内容で提出できる。 ノートをきちんと整理し、進んで学ぼうとする。 しっかりと話を聞き、進んで発表する。話し合い活動に積極的に参加する。

【使用教材等】

教科書、ノート、ワーク（教科書、漢字、文法等）、国語辞典（各自必ず用意してください）

【学習の予定】

月	学習すること	学習のポイント
4	<p>【広がる学びへ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見えないだけ ・アイスプラネット ・意見を聞き、整理して検討する 	<ul style="list-style-type: none"> ○「話す・聞く」の学習で大切なこと <ul style="list-style-type: none"> ・伝えたいことをはっきりさせる。 ・5W1Hを意識する。 ・聞き取りやすい話し方を心がける。 <ul style="list-style-type: none"> (声の大きさ・速さ・発音・間の取り方・抑揚)
5	<p>【広がる学びへ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・枕草子 ・情報整理のレッスン 思考の視覚化 ・多様な方法で情報を集めよう ・漢字①熟語の構成 ・漢字に親しもう 1 <p>【多様な視点から】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クマゼミ增加の原因を探る ・思考のレッスン 具体と抽象 ・魅力的な提案をしよう 	<ul style="list-style-type: none"> ○説明文の学習で大切なこと <ul style="list-style-type: none"> ・筋道に沿って文章の要旨をとらえる。 ・指示語や接続語に注意する。 ・文章の構成に着目して読む。 <ul style="list-style-type: none"> (問題提起・問題解説・結論) ・筆者の主張を読み取る。
6	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字に親しもう 2 ・文法への扉①単語の分け方 ・書写 (硬筆展に向けて) <p>【情報社会を生きる】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メディアを比べよう ・メディアの特徴を生かして情報を集めよう <p>【言葉と向き合う】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短歌に親しむ ・短歌を味わう ・言葉の力 	<ul style="list-style-type: none"> ○詩や短歌の学習で大切なこと <ul style="list-style-type: none"> ・表現の技巧に注意して、美しさや感動を読み味わう。 <ul style="list-style-type: none"> (比喩・擬人法・倒置法など) ・繰り返し音読することによって、イメージを広げ、味わいを深める。(暗唱も) ・作者についての知識を持つ。
7	<ul style="list-style-type: none"> ・類義語・対義語・多義語 <p>【読書生活を豊かに】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書を楽しむ ・翻訳作品を読み比べよう ・読書コラム「わからないは人生の宝物」 	
8	<p>【人間のきずな】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒューマノイド ・字のない葉書 ・聞き上手になろう 	<ul style="list-style-type: none"> ○小説や随筆の学習で大切なこと <ul style="list-style-type: none"> ・場面の情景や、人物の心情をとらえる。 ・展開に即してあらすじをとらえ、主題について考える。 ・表現の特徴に注意して文章を読み味わう。
9	<ul style="list-style-type: none"> ・表現を工夫して書こう ・表現の効果を考える ・言葉②敬語 	
10	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ音・同じ訓を持つ漢字 ・漢字に親しもう 3 <p>【論理を捉えて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モアイは語る ・思考のレッスン 根拠の吟味 ・根拠の大切さを考えて書こう ・聴きひたる 月夜の浜辺 ・漢字に親しもう 4 ・立場を尊重して話し合おう 	<ul style="list-style-type: none"> ○古典の学習で大切なこと <ul style="list-style-type: none"> ・繰り返し音読することで、文体やリズムに慣れる。 ・歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直せるようにする。 ・省略された主語や助詞を補って読む。 ・古人のものの見方や考え方方に注目して、自分の意見を持つ。 ・歴史上の事実やエピソードとからめて読み味わう。 ・好きな部分は暗唱できるようにする。
11	<ul style="list-style-type: none"> ・音読を楽しもう 「月夜の浜辺」 <p>【いにしえの心を訪ねる】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・扇の的ー「平家物語」から ・仁和寺にある法師ー「徒然草」 ・漢詩の風景 	<ul style="list-style-type: none"> ○二年生で学習する文法 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 名詞・副詞・連体詞・接続詞・感動詞・動詞・ 形容詞・形容動詞 (3学期に助詞・助動詞) </div>
12	<p>【論理をとらえる】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・君は「最後の晩餐」を知っているか ・魅力を効果的に伝えよう 鑑賞文を書く ・文法2 走る。走らない。走ろうよ。 ・漢字に親しもう 5 ・話し合いの流れを整理しよう ・書写 (書き初め) <p>【読書に親しむ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究の現場にようこと ・クモの糸でバイオリン 	<ul style="list-style-type: none"> ○「書くこと」の学習で大切なこと <ul style="list-style-type: none"> ・集めた情報の中から必要なものを選び、構成を考える。 ・文章の形態 (感想文・紹介文・意見文・取材文) に合わせた表現の仕方を工夫する。 ・伝えたいことをはっきりさせて書く。 ・文末表現を統一する。(常体か敬体) ・主述の不一致や文脈の乱れに注意する。
1	<p>【表現を見つめる】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・走れメロス ・漢字に親しもう 6 ・文法3 一字違いで大違い 	<ul style="list-style-type: none"> ○漢字・語句の学習 <ul style="list-style-type: none"> ・新出漢字は、そのつど確実に覚える。 ・語句の意味を文脈の中でとらえられるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> (辞書で確認)
2	<ul style="list-style-type: none"> ・描写を工夫して書こう ・心の動きが伝わるように物語を書く ・話し言葉と書き言葉 ・漢字3 送り仮名 	
3	<ul style="list-style-type: none"> ・国語の字びを振り返ろう ・鍵(詩) ・国語の力試し 	

社会科シラバス

第2学年

【社会科って何？】

1年生では「地理」と「歴史」をそれぞれ半分ずつ学習してきました。2年生では、「地理」「歴史」分野のそれぞれ後半を学習します(歴史・「2つの世界大戦」以降は3年生で学習)。地理では、「日本の諸地域」を中心に行い、地域の特色を学んだり、諸資料をもとに調査したりまとめたりします。歴史では、「近世の日本」から「日清・日露戦争」までについて学習します。映像教材（写真やビデオ）なども利用して学習を進めていきます。

【社会科を学習するとこんな力がつきます】

- *日本や世界の地理と歴史、現代の政治・経済・国際関係等について理解するとともに、各種の資料に親しみ、社会的事象に関する有用な情報を適切に選択して読み取ったり、図表などにまとめる力
- *社会的事象から、問題を見いだし、社会的事象の意義や特色、相互の関連を多面的・多角的に考察し、社会の変化をふまえ公正に判断するとともに、追究し考察した過程や結果を適切に表現する力
- *社会的事象に対する関心を深め、それを意欲的に追究し、民主的で平和な国家及び社会の担い手として、よりよい社会を考え、自覚を持って責任を果たそうとする力

【こんな方法で評価します】

社会科は、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点をA B Cの3段階で評価します。3つの観点のA B Cを基礎に5段階の評定をします。

十分満足できる　おおむね満足できる　努力を要する

評定
5
4
3
2
1

「知識・技能」

A

B

C

「思考・判断・表現」

A

B

C

「主体的に学習に取り組む態度」

A

B

C

【それぞれの観点は次のような方法で評価します。】

観点	評価方法	評価のめあて
知識・技能	授業プリント、発言、発表、その他提出物、定期テスト等	日本の国土と歴史、日本と関わりの深い世界の歴史等について理解することができる。 年表、地図、統計など様々な資料から情報を読み取り、気づいたことをまとめることができる。

思考・判断 ・表現	授業プリント、レポート 定期テスト 発言、発表等	様々な社会的事象の特色やかかわり、変容の理由を、多面的・多角的に考察し、表現することができる。 課題の解決に向けて自分の考えを分かりやすくまとめ、発表することができる。
主体的に学習に取り組む態度	学習に取り組む姿勢 授業プリント、レポート 定期テスト 発言、発表等	積極的に授業に取り組み、学習に対する見通しを持って、課題を主体的に追究することができる。

(学習の予定)

	月	学習すること	学習のねらい
1 学 期	4	「世界から見た日本のすがた」	・「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「地域間の結びつき」の4つの観点から、日本の国土の特色を大観する。
	5	「日本の諸地域」	・九州、中国・四国、近畿、中部、関東、東北、北海道地方の自然環境や、人口、産業などの特色について基礎的・基本的知識を身に付ける。
	6		
	7		
2 学 期	8	「身近な地域の調査」	・地図や写真、統計などの資料を通して、地域の特色や課題、変化の様子を読み取り、その結果を発表できる。
	9		・縮尺、方位、等高線、地図記号など地形図の読み取り方を身につける。
	10		・織田、豊臣、江戸幕府の政治や諸政策を理解し、社会のしくみや経済の変化について学び考察する。
	11		・江戸時代の産業の発達に関心を高め、改革について理解することができる。
3 学 期	12	「近世の日本」	
	1	「開国と近代日本の歩み」	・明治維新の特色を考え、近代国家の基礎が整えられ人々の生活が変化したことを理解する。
	2		・開国から明治維新を経て近代国家を形成していく過程を理解する。
	3		・日本と大陸との関係のあらましを、日清・日露戦争、条約改正を通して理解する。

(使用教材) 教科書・資料集・地図帳・授業プリントファイル

*年度により若干変更もあります

数学科シラバス



第2学年

<第2学年の生徒・保護者の皆様へ>

本年度、第2学年数学の授業について御案内します。各自が、この1年間の学習目標を定めたり、学習計画を立てたりする上で十分に御活用ください。

【数学って何?】

基本的には算数の延長です。中学校ではさらに、数の概念、論理的な思考力を身に付けるための授業を開いています。

【こんな力がつきます。】

文字を使ってある事柄を式で表して考えていく力、物事を論理的に推論していく力が身に付きます。

【目標】 第2学年の数学の目標は、次のようになっています。

A <数と式>

- ・文字を用いた式について、目的に応じて計算したり変形したりする能力を伸ばすとともに連立二元一次方程式について理解し、それを用いる能力を養う。

B <図形>

- ・平面図形の性質について、平行線の性質や三角形の合同などを基にして理解し、数学的な推論の意義と方法とを理解し、推論の過程を的確に表現する能力を養う。

C <関数>

- ・一次関数について理解するとともに、関数関係を見出し表現し考察する能力を養う。

D <データの活用>

- ・具体的な事象についての観察や実験を通して、確率やデータの活用の考え方の基礎を培う。

【こんな方法で評価します。】



<評価の観点>



①知識・技能

連立方程式、1次関数、図形の合同、確率などに関する基礎的な概念や原理・法則を理解し、処理する方法を身に付けています。

②思考・判断・表現

既に学習したことと関連付けて、計算の方法を考察し表現することができる。また、事象を具体的な場面で活用したり、解決方法が適切であるか判断したり、説明したりすることができる。

③主体的に学習に取り組む態度

さまざまな事象を数学的にとらえたり、考えたりしようとして、学んだことを生活や学習に生かそうとしている。また、問題解決の過程を振り返って、評価改善しようとしている。

<評価の方法>

毎時間の授業への取組、定期試験の結果、授業のノートや提出物の内容を基にして、3つの観点のそれぞれを十分満足できる…A、おおむね満足…B、努力を要する…Cの3段階で評価します。そして、3つの観点のABCを基礎に総合的に評価し、5段階の評定をします。

<使用教材>

- ・教科書

- ・プリント…問題解決的な練習問題や観察・操作・実験などに使うものなど。

- ・ワークブック…基礎・基本を身に付け、応用力を伸ばすための問題集。

<学習の進め方>

予習

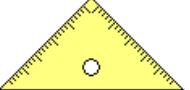
教科書を基に、授業のポイントや流れを事前に確認しておく。見通しをもって授業に臨む。

授業

- ① 授業の準備をしっかりとする。
- ② 目的と意欲をもって授業に臨む。
(課題に真剣に取り組む。説明や発表をよく聞く。積極的に挙手や発言をする。わからないところは質問する。)
- ③ 創意工夫してノートにまとめる
(要点、例題、問題、質問など整理する。)

復習

その日に習ったことは、その日のうちに再度確認する。理解が不十分なところは補充学習をする。

学期	月	学習の内容	学習のねらい
1 学期	4月	オリエンテーション 1章 式の計算 <ul style="list-style-type: none">・単項式、多項式、項の意味・多項式の加減と数との乗除・多項式のいろいろな計算・乗法、除法、乗除の混じった計算・式による説明、等式の変形	数学の授業の目標、内容、評価などを知る。
	5月	2章 連立方程式 <ul style="list-style-type: none">・連立2元1次方程式とその解の意味・連立方程式の解き方・かっこや小数、分数を含む連立方程式の解き方・連立方程式の応用問題	<ul style="list-style-type: none">・単項式と多項式の意味を理解する。・簡単な整式の加減の計算ができる。・乗法、除法、乗除の混じった計算ができる。・文字式を用いて、関係や法則を一般的にしかも簡潔に表現できる。・等式の性質を用いて、目的に応じて変形できる。
	6月	3章 一次関数 <ul style="list-style-type: none">・1次関数の意味・変化の割合、切片の意味	<ul style="list-style-type: none">・連立2元1次方程式とその解の意味を理解する。・加減法、代入によって連立方程式が解ける。・複雑な形の連立方程式の解法が理解できる。・問題解決のために連立方程式を活用することができます。
	7月		<ul style="list-style-type: none">・1次関数 $y = ax + b$ の形で表される関数関係について考察する。・1次関数 $y = ax + b$ の変化の割合について理解する。
	8月	・傾き、切片を利用したグラフの書き方	・1次関数 $y = ax + b$ のグラフの特徴について考察する。
	9月	・ x の変域と y の変域の対応 ・いろいろな条件から1次関数の式を求める ・方程式とグラフの関係 ・連立方程式の解からグラフの交点を求めたり、逆にグラフの交点から連立方程式の解を求めたりする	<ul style="list-style-type: none">・1次関数における xの変域と yの変域の対応のさせ方を理解する。・いろいろな条件をみたす1次関数を求めることができる。・2元1次方程式のグラフが書ける。・関数のグラフを利用して、連立方程式が解けたり、その逆ができる。
	10月	問題演習	・数学的な見方や考え方を身につける。
2 学期	11月	4章 図形の調べ方 <ul style="list-style-type: none">・多角形の内角と外角の意味とそれぞれの和・合同な図形の性質・三角形の合同条件とその使い方・証明のしくみ及び仮定、結論の理解・重要な基本の性質の理解	<ul style="list-style-type: none">・多角形の内角や外角の和の説明ができ、その性質を理解する。・対頂角の性質や平行線の性質、平行線になるための条件などを理解し、それを利用できる。・合同な図形の性質と三角形の合同条件を理解し、それを証明の根拠として使えるようになる。・証明のしくみが理解でき、合同条件を使って、簡単な証明ができる。
	12月	5章 図形の性質と証明 <ul style="list-style-type: none">・定義と定理の意味、二等辺三角形の定義と性質、その定理・正三角形の定義と性質、その定理・定理の逆と二等辺三角形になるための条件・直角三角形の合同条件とその適用・平行四辺形の定義、対辺と対角・平行四辺形の性質とその適用・平行四辺形になるための条件とその適用・長方形、ひし形、正方形の性質と、それらになるための条件とその適用・平行線間の距離と等積変形	<ul style="list-style-type: none">・二等辺三角形の性質が証明できる。・正三角形の性質を知り、証明ができる。・二等辺三角形になるための条件を理解する。・定理の逆の意味を理解する。・直角三角形の合同条件を理解し、それを用いることができる。・平行四辺形の性質を理解し、それを用いることができる。・四角形が平行四辺形になる条件を理解し、それを用いることができる。・長方形、ひし形、正方形の定義を知り、これらが平行四辺形の特別な場合と見ることができる。・面積を変えないで、図形の形を変えることができる。
	1月		
	2月	問題演習	・数学的な見方や考え方を身につける。
3 学期	2月	6章 場合の数と確率 <ul style="list-style-type: none">・確率の考え方・確率の求め方・いろいろな確率の求め方	 <ul style="list-style-type: none">・確率の意味が理解できる・簡単な場合について確率を求めることができる。・いろいろな方法で確率を求めるようとする。・いろいろな場合で確率を求めることができる。
	3月	7章 箱ひげ図とデータの活用 <ul style="list-style-type: none">・四分位分布と箱ひげ図	<ul style="list-style-type: none">・複数のデータの分布を比較することができる。・箱ひげ図を用いて、データの分布の傾向を比較し判断することができる。
		問題演習	・数学的な見方や考え方を身につける。
		まとめの問題 ・一年間の総復習問題	・一年間の総復習問題をやることで再度、理解を深める。

【使用教材等】

ワーク、プリント教材等を教材費より購入させていただきます。

理科シラバス

2学年

【理科って何?】

私たちの身近な自然や現象をじっと観察してみましょう。不思議だなと思うことがたくさんありませんか。自然の中には思いがけないつながりや規則性があります。理科は、そんな自然現象の不思議を見付け、なぜそのようなことがおこるのか、実験や観察を行い、その結果をもとに自然の特徴や規則性を見付け出していく勉強です。そのために、中学校の理科の授業では、基本的な知識を土台として、好奇心（興味や関心）をもってじっくりと自然現象と向き合う姿勢、正しい実験操作技術、結果を分かりやすくまとめる力、そして、結果からいえることを筋道を立てて考える力を付けていきます。



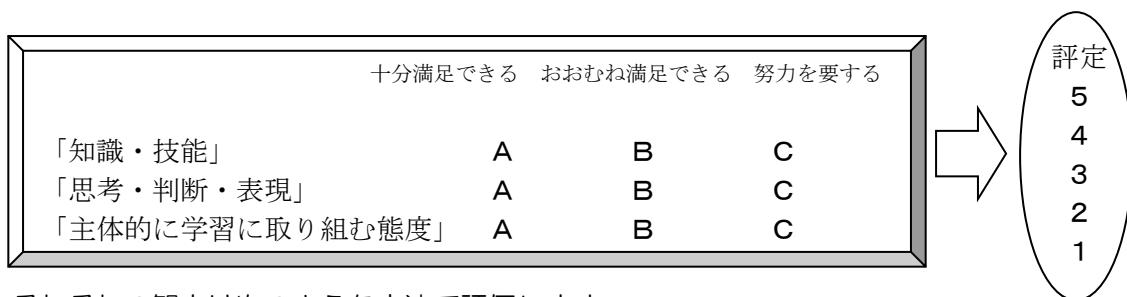
【こんな力がつきます。】

- 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技術を身に付けます。（知識・技能）
- 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養います。（思考・判断・表現）
- 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養います。（主体的に学習に取り組む態度）



【こんな方法で評価します。】

理科は、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点をABCの3段階で評価します。そして、3つの観点のABCを基礎に5段階の評定をします。

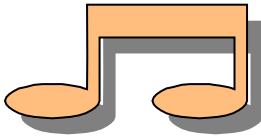


それぞれの観点は次のような方法で評価します。

観点	評価方法	評価のめあて
知識 技能	定期テスト、小テスト 学習ノート、レポート 技能テスト、制作物	基礎的な理科の知識、考え方を身に付けている。 安全、正確に実験を行うことができる。 実験結果を分かりやすくまとめることができる。 実験結果を正確にグラフ、表に表すことができる。 観察結果を細部までスケッチすることができます。
思考 判断 表現	学習ノート、レポート 定期テスト 発言および発言の発想	実験、観察の目的を踏まえて、結果をもとに筋道を立てて考察することができます。 自分の考えを分かりやすくまとめ、発表することができます。 計算の問題を解くことができる。
主体的に 学習に取り 組む態度	学習に取り組む姿勢 学習ノート レポート、提出物 ポートフォリオ	進んで事物・現象に関わることができます。 見通しをもったり、振り返りを行ったり、科学的に探究することができます。 提出物の内容を評価する。

【学習の予定】

月	単元	学習内容
4	<u>単元1 化学変化と原子・分子</u> 1章 化学変化と物質の成り立ち	化学変化とは何か 物質をつくる小さな粒子 化学変化を表す方法
5	2章 いろいろな化学変化	カルメ焼きが膨らむわけ 物質が結びつく化学変化 酸素が結びつく化学変化 酸素を取り除く化学変化 化学変化と熱
6	3章 化学変化と物質の質量	化学変化の前後の質量 反応する物質どうしの質量の割合
	<u>単元2 生物の体のつくりとはたらき</u> 1章 生物の細胞と固体	生物の体をつくるもの
7	2章 生物の体のつくりとはたらき	葉のつくり 光合成と葉のつくり 光合成と呼吸の関係 蒸散と吸水の関係 茎や根のつくりとはたらき
8 ・ 9		ヒトの呼吸系 栄養分を取り入れる仕組み～消化系 エネルギーを取り出す仕組み～呼吸系 栄養分や酸素を運ぶ仕組み～循環系 不要な物質を排出する仕組み～排出系 人以外の動物の体のつくり 情報を受け取る仕組み 情報から判断する仕組み 判断から行動する仕組み
10		
11	<u>単元4 電気の世界</u> 1章 電流と電圧	電流が流れる道筋 回路の中の電流・電圧 電圧と電流の関係 いろいろな回路 熱と電気エネルギー
12	2章 電流と磁界	磁石と電磁石 電流がつくる磁界 電流が磁界から受ける力 電流をつくり出す 電流の種類
1	3章 静電気と電流	電気を帯びる 導線以外の場所を流れる電流 放射線
2	<u>単元3 気象とその変化</u> 1章 気象の観測	気象要素とは何か 気象観測をしよう
	2章 空気中の水の変化	霧や雲が発生するとき 循環する水
3	3章 低気圧と天気の変化 気象要素の変化と空気中の水蒸気	天気のリズム 前線と天気の変化
	4章 日本の気象	天気の動き 日本の天気の特徴 天気の変化の予測
	5章 大気の躍動と恵み	雨や雪、風が人間生活を襲うとき 雨や雪、風と人間の豊かな生活



音楽科シラバス

2 学年

【(音楽)って何?】

- 授業では歌唱、器楽、鑑賞、創作に取り組みます。

歌唱では、齊唱や合唱を中心に、器楽ではアルトリコーダー演奏を中心に、鑑賞では幅広い音楽に触れ、創作では簡単な旋律づくりを行います。そして、それらの活動を通じて、基礎的な知識や技能、表現力や感性を高め、豊かな情操を養います。

【こんな力がつきます。】

- 1 音楽の興味・関心を高め、生活を明るく豊かなものにすることができます。
- 2 音楽の持つ美しさや豊かさを感じたり、基礎的な知識・技能を身に付けたりすることによって、より豊かで創造的な音楽表現ができるようになります。
- 3 幅広い音楽活動を通して、心豊かに音楽を鑑賞することができます。

【こんな方法で評価します。】

音楽の教科は次の4つの観点(通知票に記載)を、ABCの3段階で評価します。そして、4つの観点のABCをもとにして5段階の評定をします。

				評定
観点	十分満足できる	おおむね満足	努力を要する	
知識・技能	A	B	C	
思考・判断・表現	A	B	C	
主体的に学習に取り組む態度	A	B	C	

→

5
4
3
2
1

評価の規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none">・曲の構造や歌詞の内容について理解している。・曲や歌詞に応じた発声について理解している。・発音や姿勢など、歌うためには必要な発声や、全体の響きに合わせて歌う技能を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none">・知識や技能を生かして、表現を工夫している。・音楽を形づくっている要素をとらえ、雰囲気を感じとり、よさや美しさを味わって聴いている。	<ul style="list-style-type: none">・音楽を楽しみながら、すすんで表現や鑑賞の活動に取り組もうとしている。

【学習の予定】

月	単元	学習内容
4 5	歌唱 「夢の世界を」 「翼をください」	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の内容や曲想を感じ取り、拍の流れにのって合唱する。 ・曲想を感じ取り、パートの役割を理解して合唱する。
6	器楽 リコーダー 「木星」 鑑賞 「フーガト短調」	<ul style="list-style-type: none"> ・アルトリコーダーの基礎的な奏法を理解し、曲にふさわしい表現をする。 ・パイプオルガンの豊かな響きを感じ取る。 ・旋律が重なり合う音楽の形式を理解して鑑賞する。
7	歌唱 「夏の思い出」	<ul style="list-style-type: none"> ・情景を思い浮かべながら、言葉を大切にして歌う。
8 9 10	合唱祭 クラス合唱曲 学年合唱曲 器楽 リコーダー 「ふるさと」	<ul style="list-style-type: none"> ・パートの役割と全体の響きの関わりを理解し、豊かな響きになるように工夫して合唱する。 ・曲想を感じ取り、曲にふさわしい表現を工夫して表情豊かに合唱する。 ・アルトリコーダーの基礎的な奏法を理解し、曲にふさわしい表現をする。
11	鑑賞 「交響曲第5番 ハ短調」 歌唱 「荒城の月」	<ul style="list-style-type: none"> ・曲の構成と曲想との関わりを理解して、その美しさを味わって鑑賞する。 ・オーケストラの豊かな響きを味わいながら聴き、根拠を持って批評するなどする。 ・歌詞の内容や旋律から、日本の持つ情緒を味わい、雰囲気を味わいながら歌う。
12 1	鑑賞 オペラ「アイーダ」 器楽 三味線 「さくら」 「荒城の月」 鑑賞 郷土の祭りや芸能 器楽 リコーダー 「威風堂々」	<ul style="list-style-type: none"> ・総合芸術としてのオペラの特徴を、文化・歴史や他の芸術との関わりから理解して、親しみを持って鑑賞する。 ・オペラのよさや美しさを味わいながら聴き、根拠をもって批評するなどする。 ・三味線の特徴をとらえ、基礎的な奏法を身に付けて演奏する。 ・三味線の響きや特徴を感じとり、情趣を味わって演奏する。 ・音楽の特徴、背景となる歴史との関わりを理解し、生活や社会における音楽の意味や役割について考えて考えながら鑑賞する。
2	鑑賞 歌舞伎「勘進帳」	<ul style="list-style-type: none"> ・総合芸術としての歌舞伎の特徴を、文化・歴史や他の芸術との関わりから理解して、親しみを持って鑑賞する。
3	歌唱 「サンタルチア」 卒業にむけての合唱曲 国歌「君が代」 「上尾中学校校歌」	<ul style="list-style-type: none"> ・旋律の音の動きを理解し、表現を工夫して歌う。 ・曲想を生かして表情豊かに歌う。 ・パートの役割と全体の響きの関わりを理解し、豊かな響きになるように工夫して合唱する。 ・曲想を感じ取り、曲にふさわしい表現を工夫して表情豊かに合唱する。

美術科シラバス

2 学年

【美術って何?】

絵を描いたり、デザインをしたり、立体的な作品をつくったり、自分で使うことができるものを制作したりします。

作品の制作や鑑賞を通して、自分らしい表現ができるようになることを目標としています。

【美術は3つの観点を総合して5段階評価の評定をします】

知識・技能	思考・判断・能力	主体的に学習に取り組む態度
<p>〈制作〉</p> <ul style="list-style-type: none">・形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解している。・造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。・材料や用具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表している。・材料や用具の特性などから制作の順序などを考えながら、見通しをもって表している。 <p>〈鑑賞〉</p> <ul style="list-style-type: none">・対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようとする。	<p>〈制作〉</p> <ul style="list-style-type: none">・対象や事象を見つめ形や色彩の特徴や美しさ、想像したことなどを基に主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 <p>〈鑑賞〉</p> <ul style="list-style-type: none">・自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようとする。	<p>〈制作〉</p> <ul style="list-style-type: none">・美術の創造活動の喜びを味わい楽しく感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現の学習活動に取り組もうとしている。 <p>〈鑑賞〉</p> <ul style="list-style-type: none">・主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情をこめ、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

3つの観点それぞれに

A（十分満足できる）、B（おおむね満足）、C（努力を要する）

で評価します。

Aの評価は…Bに示した力をより發揮できたものがAになります。

Bの評価は…【丁寧に表現する力】【魅力的に見せるために複雑に表現する力】

【図工や美術の技能を活用する応用力】

【経験や他者の作品から学び、よりよい作品を作ろうとする姿】

【試行錯誤し、計画を立てうまくいかない時には修正を加える姿】

【決められた期限の中で作品やレポートを計画的に仕上げる力】

評価資料

出席状況、授業中の観察、提出物、忘れ物、制作進度、アイデアスケッチ、学習プリント

作品、クロッキー帳、鑑賞プリント、ファイル等

【使用教材等】

- (1) 教材費より購入させていただくもの
実習材料費（2000円程度）
(2) 作品によっては、ご家庭から材料を持ってきていただくこともあります。材料集めも学習の一つです。

【学習の予定】

月	題材名	学習内容
4	オリエンテーション 空想の中の不思議な世界 A表現(1)ア、イ B鑑賞(1)ア 〔共通事項〕(1)ア、イ	1年間の学習の目標や内容を理解する 普段何気なく通り過ぎている風景について視点を変えて「今まで見えなかつた世界」を見つける。 ・スケッチ ・線遠近法・色彩遠近法・空気遠近法
5		
6		
7	その1枚が人を動かす～ ポスター～ A表現(2)ア、イ、ウ B鑑賞(1)ア、イ 〔共通事項〕(1)ア、イ	クロームブックでポスターを作る。 ・文字のバランス ・効果的な配色 ・レタリング ・動きの工夫 ・伝達の効果
9		
10		
11	あなたと私もキャラクター！！～コミックイラストで表現しよう～ A表現(1)イ(2)ア B鑑賞(1)イ 〔共通事項〕(1)ア、イ	コミックイラスト表現を学び、自身をキャラクターとして表現する。 ・コミック表現 ・トーン表現 ・デフォルメ表現
12	瞬間の美しさを形にA表現 (1)ア、イ B鑑賞(1)ア、イ 〔共通事項〕(1)ア、イ	人体表現の基礎を可塑性のある粘土を素材として表現する。 ・スケッチ ・人体の構造 ・鑑賞 ・彩色
1		
2	デザインとクラフト A表現(1)イ(2)ア B鑑賞(1)イ 〔共通事項〕(1)ア、イ	工芸作品とアニメーションの表現。 ・構成 ・アニメーション
3		

【保健体育って何?】

人はなぜ運動するのでしょうか。運動にはどんな効果があるのでしょうか。また、体力や運動技能を高めるには、どんな運動・練習を、どのように行ったらよいのでしょうか。このようなことを頭において、いろいろな運動をおこないます。器械運動、陸上競技、水泳、球技、柔道、ダンス、個人の種目、集団の種目とありますが、それぞれに魅力のある運動ですので自分の体力や技能を高めるために、また、仲間と協力する、認め合うことなども学んでください。

また、保健では、中学生期が心も体も著しく生長・発達するときであることをふまえ、心や体が健やかに育つための正しい知識を身に付けるための学習します。

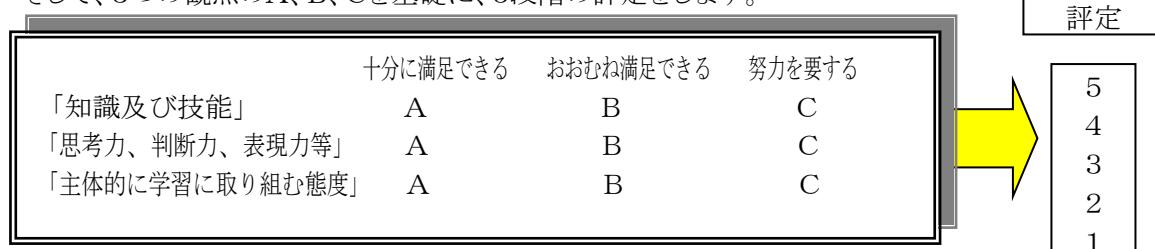
【こんな力がつきます】

- ① それぞれの運動の特性を理解し、運動の楽しさを味わい、体力や技能を高めます。
- ② 自己の能力に応じた目標を設定し、課題を解決するという考え方を育ちます。
- ③ 相手を尊重し、仲間と助け合って活動することができます。
- ④ 健康や安全について理解し、調和のとれた心身の発育、発達を目指す力を高めます。

【こんな方法で評価します】

保健体育は「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点をA、B、Cの3段階で評価します。

そして、3つの観点のA、B、Cを基礎に、5段階の評定をします。



◎ 知識及び技能

知識・技能の評価は、各教科等における学習の過程を通した知識及び技能の習得状況について評価を行うとともに、それらを既存の知識及び技能と関連付けたりして活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているかについても評価します。

◎ 思考力・判断力・表現力等

思考・判断・表現の評価は、各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかを評価します。

◎ 主体的に学習に取り組む態度

主体的に学習に取り組む態度の評価に際しては、単に継続的な行動や積極的な発言を行うなど、性格や行動面の傾向を評価することではなく、各教科等の「主体的に学習に取り組む態度」に係る観点の趣旨に照らして、知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとしているかどうかという意思的な側面を評価します。



※ 授業で使用する「はちまき」は、最初の授業時に配布します。

その後、紛失した場合は「各自購入」となります。

学期	学習すること	学習のポイント
一 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ◎体育理論 <ul style="list-style-type: none"> ・授業時の約束事の確認 ・集団行動、準備運動の仕方など ◎体つくり運動 <ul style="list-style-type: none"> ・体ほぐしの運動 ・体力を高めるための運動 ◎新体力テスト ◎陸上競技 <ul style="list-style-type: none"> ・走り幅跳び、ハードル走 ◎器械運動 <ul style="list-style-type: none"> ・マット運動、跳び箱運動 ◎水泳 <ul style="list-style-type: none"> ・クロール、平泳ぎ、背泳ぎ  ◎保健 <ul style="list-style-type: none"> ・障害の防止 エ 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方について学ぶ。 ・授業時の服装、持ち物、見学等の約束を理解する。 ・運動の特性に応じた学び方や安全の確保の仕方を理解する。 ・柔らかさや、巧みな動きを高める。 ・力強い動きを高める。 ・一人一人が「目標をもつ」、「自己の体力の伸びを実感」できるようにする。 ・ポイントや方法を知る。 ・各種目に応じた練習を工夫し自己の能力を高めるよう、仲間と協力して練習する。 ・自分のできる技・跳び方を発展させる。 ・クロールや平泳ぎ、背泳ぎの技能や練習方法を学ぶ。 ・事故防止の心得や安全な行動を学ぶ。 ・応急手当(傷害の悪化防止)、心肺蘇生法
二 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ◎体育理論 ◎体つくり運動 <ul style="list-style-type: none"> ・体ほぐしの運動 ・力強い動きを高める運動 ◎体育祭 ◎球技 I <ul style="list-style-type: none"> ・卓球・ソフトボール  ◎陸上競技 <ul style="list-style-type: none"> ・長距離走 ◎保健 <ul style="list-style-type: none"> ・健康な生活と疾病の予防 ウ、エ 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方について学ぶ。 ・個人またはペアで自分にあった運動を選び、施設や用具を利用・工夫して取り組む。 ・仲間と積極的に関わり合い取り組む。 ・ルールを理解してゲームを行い、自己やチームの課題を見つけ、技能を高める。 ・自己にあったピッチとストライドで上下動の少ない動きで走る。 ・生活習慣病などの予防法 ・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康
三 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ◎体育理論 ◎ダンス <ul style="list-style-type: none"> ・現代的なリズムのダンス ◎武道(柔道) <ul style="list-style-type: none"> ・礼法、基本動作、受け身、固め技 投げ技、試合 ◎球技 II <ul style="list-style-type: none"> ・サッカー、バスケットボール  ◎保健 <ul style="list-style-type: none"> ・障害の防止 ア、イ、ウ 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方について学ぶ。 ・恥ずかしがらずに思いきり体を動かし、表現する。 ・礼儀作法を学び、基本動作を身に付ける。 ・相手を尊重する態度を育てる。 ・対人での基本技を身に付ける。 ・パス、ドリブル、シュートなど自分の能力に合わせて練習し、技能を高める。 ・リーグ戦を行い、チームの課題を把握し、次回の練習内容に生かす。 ・交通事故や自然災害などによる傷害の発生要因 ・交通事故などによる傷害の防止 ・自然災害による傷害の防止

技術・家庭科（技術分野）シラバス

2学年

□技術・家庭科（技術分野）の学習とは…

技術分野の学習は、科学技術や情報化が進展する社会において、一般国民として技術を適切に評価し活用する能力と態度を育成することをねらいとしています。ものづくりなどの活動を通して、材料と加工、生物、エネルギー、情報などの知識や技術を習得しながら、技術と社会や環境とのかかわりについて考えていきます。

2年生では、生物育成の技術とエネルギー変換の技術を学習します。生物育成の技術では、作物の栽培のみならず、動物の飼育や水産生物の飼育の実態についても学びます。生産と消費の中で、生命倫理についても考えを深めていきます。エネルギー変換を利用した製品などの学習を行います。エネルギー変換を利用した製品の学習では、はんだごてを使ったはんだづけや、使用目的や条件を踏まえた簡単な電気回路の設計・製作、機構等の仕組み、保守点検などについて学びます。目的とする動作を実現するために「技術の見方・考え方」を働かせて活動を進めます。

□技術分野の学習で身に付く力は…

学習を通して、「生物育成の技術」や「エネルギー変換の技術」が社会や環境に果たしている役割と影響について理解し、今後、よりよい社会を築いていくために、これらの技術をどのように活用していくべきよいかを考える能力と態度が育成されます。また、勤労観や職業観、問題解決能力なども合わせて醸成され、これからの社会で主体的に「生きる力」が身に付きます。

□評価の観点と評価方法

技術分野の学習は次の3つの観点（通知票に記載）をABCの3段階で評価します。そして、3つの観点のABCをもとに5段階の評定をします。

観点	十分満足できる	おおむね満足	努力を要する	評定
知識・技能	A	B	C	5 4 3 2 1
思考・判断・表現	A	B	C	→
主体的に学習に取り組む態度	A	B	C	

観点	観点の説明	評価方法（評価資料）
知識・技能	生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能。	設計図・工具や機器の使用状況・制作品、定期テストの得点 等
思考・判断・表現	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力。	ワークシート・レポートの内容、定期テストの得点 等
主体的に学習に取り組む態度	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度。	ワークシート・レポートの内容や授業での発言内容 等

【使用教材等】

生物育成にかかる栽培セットとエネルギー変換製作品の材料費がかかります。

【学習の予定】

2年生の技術分野の授業は4月から始まります。内容は次の通りです。

月	題材名	学習内容
4	生物を活用し、安定した生活を実現する技術について考えよう	<ul style="list-style-type: none"> ○ガイダンス ○社会における生物育成の技術 ○植え付け ○栽培における環境の整備 ○土壤の性質と施肥 ○技術による問題解決の工夫 ○栽培における管理作業 ○問題の発見と課題の設定、設計・計画 ○育成計画と記録 ○動物の飼育に関する技術 ○水産生物の栽培に関する技術 ○収穫 ○問題解決の振り返り ○からの生物育成の技術について
5		
6		<ul style="list-style-type: none"> ○わたしたちの生活とエネルギー変換 ○電気エネルギーの利用 ○機器の安全な利用と保守点検 ○エネルギー変換の実際 <ul style="list-style-type: none"> • 電気回路（LEDの発光と抵抗器） • 電気回路（光センサの回路） • 電気回路（コンデンサによる充電） • 電気回路（トランジスタの増幅回路） • 電気回路（応用）
8		<ul style="list-style-type: none"> ○技術による問題解決の工夫 ○問題の発見と課題の設定、設計 ○構想の検討
9	エネルギー変換の技術を活用した製品の製作・利用を通して、持続可能な社会について考えよう	<ul style="list-style-type: none"> ○製作品の製作 <ul style="list-style-type: none"> • はんだづけ • 組立て • 点検 ○問題解決の振り返り
10		<ul style="list-style-type: none"> ○問題の発見と課題の設定、設計・機械部品 <ul style="list-style-type: none"> • 運動を変化させるしくみ • 動力伝達のしくみ ○問題解決の振り返り ○からのエネルギー変換の技術について ○情報とわたしたちの生活 ○技術による問題解決の工夫

◎ 2学期の前期と後期の切り替えのとき（2学期中間テスト）に定期テストを1回実施します。

技術・家庭科（家庭分野）シラバス 2学年

□技術・家庭科（家庭分野）の学習とは…

技術・家庭科は『学んだことを生活に活かすことを目標に、将来の自分を思い描きながら学習する教科』です。

2学年の家庭分野では、食生活（食文化と環境）について学習を進めていきます。食生活では、中学生に必要な栄養の基礎学習を土台として、魚の調理、肉の調理、地域の食材を使った野菜調理とそれを活用した一日分の献立を考えます。また、食分野の最終段階として、自分の食生活の課題を発見し、それを解決する食生活（献立）の工夫を考えます。

□家庭分野の学習で身に付く力は…

食事の役割や健康と食事とのかかわりを知り、中学生に必要な栄養を考えた献立を作ることができます。食品を適切に選び、安全や衛生に気をつけながら日常の食事を調理するための知識と技術が身に付きます。衣服の簡単な手入れと補修ができるようになります。また、学習した知識や技術を実際の生活中で生かそうとする能力を育てることは、生きる力になります。

□評価の観点と評価方法

家庭分野は、次の3つの観点（通知票に記載）を、ABCの3段階で評価します。そして、3つの観点のABCを基礎に、5段階の評定をします。

観点	十分満足できる	おおむね満足	努力を要する	評定
知識・技能	A	B	C	5
思考・判断・表現	A	B	C	4
主体的に学習に取り組む態度	A	B	C	3 → 2 1

観点	観点の作成	評価方法（評価資料）
知識・技能	生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能。	定期テストの得点、授業プリントの内容、被服技術、調理技術、発表内容等
思考・判断・表現	生活や社会の中から問題を見いだしして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力。	授業プリントやレポートの自己評価表の内容、作業への取り組み状況、発表内容等
主体的に学習に取り組む態度	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度。	発言内容、提出物の内容、発表内容、授業プリントやレポートの自己評価表の内容、作業への取り組み状況、被服技術等

【学習の予定】

2年生の家庭科の授業は10月中旬から3月（学年末テスト）までの後期です。

以下が、学習の流れの目安です。

10月 家庭科のオリエンテーション
11月 生鮮食品と加工食品、食品の安全と保存
12月 献立作成①

1月 肉、魚、野菜の調理
2月 献立作成②



【使用教材等】

調理実習材料費がかかります。

「特別の教科道徳」 シラバス

月	回数	教材名		
		1年	2年	3年
4	1	挨拶しますか、しませんか	鳥のように空をとびたい 高梨沙羅	〇〇流デジタルライフ
	2	あなたに	ごみ収集場所をどこに	思い出のオムライス
5	3	掃除の神様が教えてくれたこと	ソムチャイ君の笑顔	百年たっても
	4	うわさで決めるの？	コスマスR計画	余命ゼロ 命のメッセージ
	5	釣りざおの思い出	ヨコスカネイビーパーカー	アップロード ダウンロード
	6	黒い弁当	僕の職場体験活動「彩の国の道徳」	赤道直下にすむマウンテンゴリラ
6	7	バスと赤ちゃん	蹴り続けたボール	町工場から宇宙へ
	8	裏庭での出来事	ジャッジとチャレンジ	世界一厄介な問題
	9	壊れた掲示板	父との約束	二人の弟子
	10	仮入部「彩の国の道徳」	青のオーケストラ	私たちの夏
7	11	いっぱい生きる 全盲の中学校教師	初めてのアルバイト	笛
	12	真の国際人 嘉納治五郎	三人の誓い 大山捨松	ねぶたを夢見て
8	13	ロコ・ソラーレ メダルへの挑戦	忘れていたこと「彩の国の道徳」	独りを慎む
	14	ネット将棋	キヤッチボール	一冊のノート
	15	オーストリアのマス川	ブラックジャック ふたりの黒い医者	電車の中で
	16	トキのいる里をもう一度	サキとタク	もっとわかり合いたい
9	17	日曜日の朝に	ヒト・IPS 細胞を求めて 山中伸弥	境界線を越える
	18	金色の稲穂	言葉の向こうに	領民を愛した名君 上杉鷹山
	19	町内会デビュー	共に未来を	二通の手紙
	20	ふと目の前に 森繁久彌	リンゴが教えてくれたこと	忘れられないご馳走
10	21	ネパールのビール	足袋の季節	未来の日本ヘデビュー
	22	エルトゥールル号の遭難	ものづくり	どうして？
	23	公平とはなんだろう	星置の滝	ルリボシカミキリの青
	24	自然の懐に抱かれて	厳かなるもの	二人はライバル
11	25	伝統を伝説に	黒蜘蛛の元次	卒業文集最後の二行
	26	クラスメイト	償い	白川郷に魅せられて
	27	日本の心と技	金閣再建 黄金天井に挑む	正確な日本地図の追究 伊能忠敬
	28	イチローの軌跡	五色桜	礼儀って
	29	私たちの初詣「彩の国の道徳」	お通夜のこと	優介の決意
	30	認められたグラブ	心のバス交換「彩の国の道徳」	雪が降ると思い出すことがある
12	31	吾一と京造	未来に輝け復興和太鼓	五井先生と太郎
	32	傘の下	私は大丈夫そんなきもちはないですか	スポーツの力
	33	ゲームから広がる可能性	美しい母の顔	「血の通った義足」を作りたい
	34	捨て犬・未来	そこにいるだけでいい	杉原千畝の選択
	35	何だっていいんだあ「彩の国の道徳」	帰郷	亡き母へのトランペット

○4月最初の授業で道徳オリエンテーションを行います。

※評価については、各学期通知表に掲載します。